

N S C だより

☆NSC活動4年目も終盤に入りました！

今年度の各委員会等の主だった活動の様子を報告します。

《災害等緊急時対策委員会》

(1) 防災への備え、見直し

- ①災害時等の災害対策本部の下での運営組織体制を区と共に検討を進めています
 - ・従来作成されていたものを元に、より機能化を図れるように！
 - ・11月8日に開かれた「避難所に係わる学習会」で町より示されたものも参考にします！

- ②防災倉庫内等の備蓄品の点検確認、補充、新規設置
 - ・防災用救急箱セット（50人分）・ポータブルトイレの囲い（2基）・携帯おにぎり 鮭（50個）

(2) 災害時住民支えあいマップの更新

今年も区民の皆様のご協力をいただき整備できました。

(3) 区の総合災害防災訓練に参画

- ①正副委員長を中心に、災害状況確認・把握・被災者確認・情報収集・炊き出し訓練等に務めました。
- ②防災用品の使用方法の確認をしました。

ポータブルトイレ囲い（どこでもルーム）



《交通安全対策委員会》

(1) 通学路の安全確保

- ・草刈りや除草剤散布を行い、通学路の環境を整えました。

(2) 危険箇所の点検

- ・危険箇所は昨年度までと同様であることが確認されました。公民館に掲示してある地図をご確認ください。

《暮らしの安全対策委員会》

(1) 支えあい（支援）

- ①困りごとアンケート及びボランティア募集調査を今年も実施しました。
 - ・ボランティアには16名の方が申し込んでくださいました。40・50代の皆さん、さらに積極的なご応募をお願いします。
- ②困りごとに対応して、ボランティア草刈り班を再編成して取り組みました。

(2) 救急医療情報キット

- ①今年で情報キット設置率が全戸の50%になりました。玄関先に貼るシートも日焼けしないよう工夫してみました。

- ②70歳以上等の希望者には、「携帯用命のカプセル」が町から配布されます。このとりまとめと配布を行いました。

(3) ふれあい交流活動の運営、サポート

- ①地区社協と共に子育て世代親子との交流会の企画・運営（7月7日、60余名参加）
 - ・七夕飾り作り ・流しそうめん ・スイカ割り ・吹矢 ・おもちゃ掬い 等
- ②「ふれあいなかはら」（ふれあいサロン）
 - …委員が代表を務め、毎月第2土曜日
 - ・リクレーション（ゲーム、スポーツ、脳トレ等） ・中原の水の歴史 ・歌
 - ・茶話会 ・健康チェック 等

- ③「いきいきなかはら」（100歳体操）… 委員が代表を務め、毎週月曜日
《11月中旬現在33回実施》



子育て世代親子との交流会

「避難所に係わる学習会」を開きました

11月8日（金）《19：00～20：20》に標記の「避難所に係わる学習会」を開催致しました。講師に箕輪町役場総務課危機管理監の笠原正一郎さん、消防防災係長の潮田孝則さんをお迎えし、下記内容での学習会になりました。

(1) 熊本地震における避難所運営状況の事例

西原村河原小学校避難所の紹介がなされました。住民が米などの食料を自宅から持ち寄り、学校の給食室を活用して、自炊しながら避難生活を続けてきた様子です。

(2) 避難所運営組織のあり方や活動内容

- ・ 中原区避難所運営組織構成（案）：避難所運営委員会の下に8つの活動班（総務、被害者管理、情報・広報、施設管理、食料・物資、救護、衛生、ボランティア）からなる組織が示されました。

- ・ 「避難所開設・運営マニュアル」に基づいて、上記の運営委員会～各活動班の活動内容の説明を受けました。

(3) 避難所運営ゲーム（HUG）中原公民館を避難所と見立てて、HUGの模擬体験

例ア「避難者 中原一郎（65歳）今、避難して来ましたが、たばこはどこで吸えばいいですか？」

例イ「避難者 小林悦子（44歳） 雨でぬれてしまいました。着替えをしたいのですが、どこか更衣室はありますか？」

例ウ「避難者 鈴木孝子（68歳） ペットのネコと一緒に来ましたが、おとなしいので一緒に居てもいいですか？」 等

上記のような避難者が来た場合、中原区の避難所ではどこにその場を確保したらよいかを、これ以外にも3つの事例が示され、図面上で考え合いました。

※現時点での中原区の「災害時避難所開設マニュアル」は、玄関先の壁の収納ボックスの中にあります。

～「避難所に係わる学習会」出席者の感想・意見等～

※主な感想・意見の抜粋

《講話及び避難所運営ゲームに係わって》

- ・ 避難所開設のイメージがある程度明確になった。中原区として独自の部分も考慮して、さらに明確にした方がよい。 ・ 問題意識の共有ができた。
- ・ マニュアルにそって活動すれば、初期活動がスムーズに進むと思う。
- ・ 近年多発する災害の中で、決して他人事ではないので参考になりました。
- ・ HUG（避難所運営ゲーム）は実践的で参考になりました。
- ・ 時間が短いです。流れのみは理解できました。

《意見交換の中でのことに係わって》

- ・ （中原公民館避難所では）狭いスペースに色々な人がいると、部屋が足りない。公民館前のスペースの有効活用、テントの有効活用等が必要。

《その他》

- ・ もしもの時の準備・想定も必要と思った。
- ・ このような学習会を積み重ねていくことが大切なので、これからも計画実施してほしいと思います。
- ・ 避難所のことを考える良い機会でした。 ・ 区民全体の参加が必要だと思う。

～中原セーフコミュニティ推進協議会（NSC）への意見・感想等～

NSC 発足4年目が経過しています。区民の皆さんのご意見・ご感想をいただき、「区民がつながり合い、いっそう安全・安心に暮らせる中原区」を目指す NSC の活動に活かして参りたいと思います。お声をお寄せください。12月1日（日）までに担当役員がいただきに伺います。 ※封筒に入れて提出をお願いします。